

# 学術総会日程表

第1日目 2017年11月18日(土)			
東京大学伊藤国際学術研究センター			医図書
伊藤謝恩ホール (地下2階)	ギャラリーI、II (地下1階)	多目的スペース (地下2階)	333室 (3階)
			10:30~11:30 PVS 講習会
11:30 開会の辞			
11:35~12:00 会長講演 (小出 大介) 座長: 山口 拓洋			
12:10~13:10 ランチョンセミナー 武田薬品工業株式会社提供 講師: 寺本 民生 (帝京大学)、菅野 健太郎 (自治医科大学) 座長: 漆原 尚巳 (慶応大学)			12:00~13:30 評議員会 (定款上の 社員総会)
13:15~13:55 招待講演 Dr. Dennis Ross-Degnan (Harvard Medical School) 「Examining the Impact of Insurance Coverage Policies on Use of Medicines」 座長: 小出 大介 (東京大学)			13:30~15:00 PVS 講習会
14:00~15:30 シンポジウム1 生物統計と薬剤疫学の専門家の人材育成 座長: 浜田 知久馬、竹内 由則 演題 1-2)AMED 生物統計家育成支援事業-東大、京大の取り組み- 演者 1) 佐藤俊哉 (京都大学)、演者 2) 松山 裕 (東京大学) 演題 3) 計量生物学会 試験統計家の認定制度 演者 3) 大橋靖雄 (中央大学) 演題 4) 企業における薬剤疫学の専門家の養成 演者 4) 青木事成 (中外製薬) 演題 5) 日科技連の薬剤疫学セミナー 演者 5) 久保田 潔 (NPO DSRU Japan)	ポスター掲示	展示ブース	
15:35~17:05 一般演題1-A 座長: 川上 浩司、木村 友美 ＜方法論・薬剤使用実態＞ 7題 (発表9分、質疑3分、演者入替1分)	15:35~16:24 一般演題 1-B<ポスター> 座長: 大山 良治、草間 真 紀子 7題 (発表5分、質疑2分)		
17:10~18:40 シンポジウム2 「医療データベース研究の活性化に向けて」 座長: 木村 通男、大橋 靖雄 (医療情報学会、臨床薬理学会、 臨床試験学会、臨床疫学会との共同企画) 演題 1) MID-NET の使用法と試行結果 演者 1) 木村通男 (医療情報学会) 演題 2) 患者レジストリーを用いた薬剤の臨床薬理学的研究 演者 2) 植田真一郎 (琉球大学) 演題 3) 臨床疫学研究の観点から見た医療データベース基盤 演者 3) 川上浩司 (臨床疫学会) 演題 4) 医療データベース研究の活用事例; バリデーション 研究 演題 4) 松下泰之、鏑木 淳平 (臨床試験学会)	ポスター撤去 (ポスター掲示は18時 まで)		
		19:00~20:30 懇親会	18:40~19:00 理事会

第2日目 2017年11月19日(日)			
東京大学伊藤国際学術研究センター			医図書
伊藤謝恩ホール (地下2階)	ギャラリーI、II (地下1階)	多目的スペース (地下2階)	333室 (3階)
9:30～10:40 シンポジウム3 座長：久保田 潔、青木 事成 日本における傷病名を中心とするレセプト情報から得られる指標のバリデーションに関するTF報告  演者 1) 岩上将夫 (London School of Hygiene and Tropical Medicine) 演者 2) 宮崎真 (MSD株式会社) 演者 3) 草間真紀子 (東京大学) 演者 4) 今井志乃ぶ (国立病院機構)	ポスター掲示	展示ブース	
10:50～12:20 一般演題2-A 座長：景山 茂、大場 延浩 <シグナル検出・リスク最小化策の評価> 7題 (発表9分、質疑3分、演者入替1分)	10:50～11:39 座長：古閑 晃、赤沢 学 一般演題2-B<ポスター> 7題 (発表5分、質疑2分)		
12:30～13:30 ランチョンセミナー 日本オラクル社提供 講師：吉本 真 (東京大学) 座長：山崎 力 (東京大学)			理事会
13:30～14:00 全体総会			
14:10～14:50 教育講演 (久保田 潔) 「薬剤疫学の最近のトピック」 座長：山口 拓洋	ポスター掲示 (ポスターは17:00までに撤去のこと)		
15:05～17:05 シンポジウム4 改正GPSP省令下における市販後医薬品のリスクとベネフィットの評価 座長：佐藤 嗣道、石黒 智恵子 演題1) 改正GPSP省令がもたらす安全性監視活動の変革 演者1) 澤田 想野(PMDA) 演題2) 市販後の医薬品評価に関する医療現場での課題と取り組み 演者2) 川上 純一(浜松医科大学) 演題3) 製造販売後調査と安全対策における製薬企業の取り組みと課題 演者3) 宮川 功 (武田薬品工業) 演題4) 専門委員としてRMPやリスクベネフィット評価への今後の期待 演者4) 山口 拓洋 (東北大学)			
17:05～17:10 奨励賞の発表 (口演2題、ポスター2題) 小出 大介 (第23回大会長)			
17:10～17:15 閉会の辞 山口 拓洋 (第24回大会長)			